

みなみかぜ

令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

改善されてきた学校前の交通状況

N○16号で、セミコンテクノパーク協議会に通勤に関する要望書を提出したことを紹介しました。その2週間ほど前には町からも要望が出されています。

9月になって以下のような改善が見られています。

○登校時間帯の学校前の県道の通行量がかなり減少した。以前は、柳水公民館前の信号から学校の西門前の横断歩道まで渋滞していることが20分ほどありましたが、今は5分ほどだったり、そこまで渋滞しない日も見られるようになってきました。

○無理な割り込みや信号が赤になっての通過が1/4ぐらいに減った。

○学校前の信号がある横断歩道での危険な左折がほぼなくなってきた。

まだ、少し危ないと思う時もありますが、大声で制止が必要な場面はなくなりました。ありがとうございます。

また、白バイによる取り締まりや交通指導が本年度2回行われています。その日は、ドライバーのマナーもかなりいいです。とてもいい啓発になっていて、ありがとうございます。お話をお聞きしたら、本校高学年の保護者の方で、驚くとともにより感謝の気持ちが強まりました。



4年生福祉学習頑張っています(その3)

4年生の福祉学習の紹介も今回が最後となります。4年生は昨日の2・3校時に体育館で福祉体験学習を行っています。



車椅子に乗る人と押す人に分かれて両方体験します。マット程度の段差でも乗り越える時にどうなのかを体験で実感します。真ん中の写真は実際に目隠しをして障害物を杖で把握しているところです。なかなか難しいことが分かります。右の写真は、肘や膝にプロテクターをしたり、ゴーグルをはめたりして高齢者の方の動きにくさ、見えにくさ、聞こえにくさを体験しているところです。自分が体感することで、相手の気持ちになってどう接すればいいのかを考えることができます。子どもたちの心の中に大切なものを育む学習だと思えます。

また、その学習を支えてくださる社会福祉協議会の方々にも感謝の気持ちで一杯です。